

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	公益財団法人公共政策調査会
事業名	第21回海外安全対策会議（フランクフルト・セミナー）
<p>公共政策調査会、全国暴力追放運動推進センター及びフランクフルト日本法人会の共催によりフランクフルトで開催し、日立製作所の小島俊郎リスクマネジメント・ダイレクターによる基調講演に続き、警察庁幹部や現地大使館担当者が参加するパネルディスカッションを行った。ドイツは比較的治安が良好であるものの、フランクフルトはドイツ国内で最も犯罪発生率の高い都市であり、また2011年3月にはイスラム過激主義者がフランクフルト国際空港において米軍兵士を殺傷する事件が発生したほか、2012年12月にはボン中央駅のホームで爆発物の入ったカバンが発見されるなど、依然としてテロの脅威も続いている。さらに、市内には欧州中央銀行があることから、反グローバリズムを唱える大規模なデモが発生し、警察と衝突する事態も起きている。こうしたことから在留邦人の本セミナーに対する関心は非常に高く、企業の駐在員など、予想を上回る約70人が参加した。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。